令和８年度　２学年 医療機関（水戸赤十字病院）体験学習

2026.8.19（水）

２学年医学コースの生徒を対象に、水戸赤十字病院における体験学習を実施しました。

初めに、野澤病院長のご挨拶の後、東邦大学医療センター大森病院の酒井病院長から、「どこで働くか、何をするかではなく、自分のやりたいことは何か、が大切」というお話をいただきました。病院概要の説明及び研修医の１日の紹介の後、２グループに分かれて院内見学と実習を行いました。

院内見学では、薬剤部、放射線科と検査部を回りました。薬剤部では調剤を行う場所や保管庫を見学し、薬剤の厳格な管理や、抗がん剤などの調剤の精密さを学びました。放射線科では各種のレントゲン機器やＣＴ、ＭＲＩなどの放射線診断機器を見学し、リニアックという放射線治療装置の高額さに驚きました。検査部では患者の細胞を観察する病理検査と細菌などを培養して特定する細菌検査について、実際の作業を見ながら説明を受けました。各部門とも責任者の先生方（薬剤師、放射線技師、臨床検査技師）が熱心にお話くださいました。

実習では、消化器外科の清水先生からご指導を受け、皮膚の模型と実際の手術器具を使っての縫合を行いました。テーブルごとに研修医の先生が付き丁寧に指導してもらったので、初めはぎこちなく使っていた生徒もスムーズに行えるようになりました。

最後に全体で集まり、研修医の先生を囲んでの座談会を行いました。小グループなので、医学生や研修医の生活などについて和気あいあいと聞くことができました。

生徒にとっては、がん診療や災害救護活動も行う総合病院の様々な職種と業務について深く実感する貴重な機会となりました。なお、この体験学習は昨年度までの獨協医科大学における学習に代わるもので、県医療人材課の仲介により、コロナ禍で中断していた病院での実習が可能になったものです。受け入れていただいた水戸赤十字病院及び関係者の皆様には深く感謝いたします。